

大学院教育協力

生理学研究所は、大学共同利用機関として、人体の生命活動の総合的な解明を究極の目標とし、分子から個体のレベルにわたり、人体等高等動物の機能の総合的な研究を行うことを目的としている。

本研究所は、これらに関連する分野における研究者との共同研究等を実施するとともに、研究者の養成に関しては、国、公、私立大学の要請に応じて、「特別研究学生」を

受け入れ、大学院における教育に協力を行ってきたが、近年における、研究所の研究活動への大学院学生の参画の重要性に鑑み、平成9年度からは当該大学院生を「特別共同利用研究員」として受け入れ、併せて研究指導を行い大学院教育の協力を行うこととした。

受入れ対象は、生理学及び関連分野を専攻する大学院在学者で、受入れ期間は原則として一年で、各大学の大学院から推薦された者について、審査委員会において審査ののち、所長が受入れを決定する。

特別共同利用研究員

氏 名	所属大学	研究科	専攻等	研究題目
齋藤紀美香	九州大学大学院	医学系学府	病態医学	中枢神経系損傷後の機能代償過程における神経回路の再組織化の分子的基盤
安藤 博文	名古屋外国語大学大学院	国際コミュニケーション研究科	フランス語コミュニケーション学	脳磁図と脳波を用いた外国語音声の弁別・知覚に関する研究
米田 英嗣	京都大学大学院	教育学研究科	教育科学	文章理解における感情情報処理の神経基盤
辻 健史	名古屋大学大学院	医学系研究科	健康社会医学	脳磁図と脳波を用いたヒト脳機能の非侵襲的研究
武井 智彦	京都大学大学院	人間・環境学研究科	共生人間学	大脳と脊髄における感覚と運動の連関機構
岩室 宏一	東京大学大学院	医学系研究科	脳神経医学	霊長類を使った基底核の生理研究
島 麻子	日本大学大学院	歯学研究科	生理学	侵害刺激受容 TRP チャネルの機能解析
雨宮 和絵	信州大学大学院	工学系研究科	応用生物科学	実験小動物精子、卵子を用いた発生工学
浅川 晋宏	東京慈恵会医科大学大学院	医学研究科	眼科学	視知覚の神経機構の研究
和氣 弘明	名古屋市立大学大学院	医学研究科	神経病態学	神経障害再生期における可塑性機構の解明
内山 仁志	鳥取大学大学院	医学系研究科	医学	比喩と皮肉に関する神経基盤の解明
池田 和代	香川大学大学院	医学系研究科	分子情報制御医学	オリゴデンドロサイトの発生と Olig2 系譜細胞の分化解析
杉浦 悠毅	東京工業大学大学院	生命理工学研究科	生命情報学	JST 先端機器開発プロジェクト 質量顕微鏡開発
大塩 りつ	名古屋大学大学院	医学系研究科	細胞情報医学	運動と思考に関する脳機能の解明（空間情報の脳内操作時の脳機能イメージング）

※ 平成18年4月1日現在

STUDENTS FROM OTHER UNIVERSITIES

We are also cooperating with other graduate universities in Japan. Many graduate students in other graduate universities stay and study in NIPS for one or two years.